

講義 レジюме

講師 特定非営利活動法人 ピアサポートネットしぶや  
理事長 相川 良子

内容・テーマ 期日 平成30年8月10日  
家庭教育と社会教育~地域に求められている家庭教育支援~

1 家庭教育の現状

- (1) 地域とのつながりの希薄化、子育ての孤立化等家庭教育が困難な時代
- (2) 小中学生の不登校は、4年（H25~28）続けて前年より増加
- (3) 障害のある子ども若者への支援
- (4) 子供の貧困問題への対応
- (5) 家庭でのコミュニケーションや、子供の基本的な生活習慣への危惧

2 家庭教育をめぐる国の動き動き

- (1) 教育基本法の改正で、家庭教育に関する独立規定新設（H18）
- (2) 教育振興基本計画(H20)
- (3) 家庭教育支援の推進に関する検討委員会（H20）  
~つながりが創る豊かな家庭教育（H24）~
- (4) 家庭教育支援チーム等による家庭教育支援（H20~）
- (5) 子供の生活習慣づくりの推進(H18~)
- (6) 第2期教育振興基本計画（H25）
- (7) 次世代の「学校・地域」創生プラン(H27)  
~地域学校協働本部事業と家庭教育~
- (8) 関係機関（母子保健・福祉部局）の取り組み
- (9) 関係機関との連携による取り組み

3 地域に求められている家庭教育支援

- (1) 地域学校協働の仕組みをつくる
- (2) 協働が生まれる地域のつながり
- (3) 訪問型家庭教育支援・・・亀岡市の事例から考える

4 家庭教育支援における社会教育の役割

- (1) 各都道府県、市区町村教育長協議会の調査から(H29)

(2) 今後の社会教育行政について

~従来の縦割り「自前主義」から脱却しネットワーク型行政の推進を目指す~

(3) 今後に向けて~解決のための提案・・各都道府県、市区町村教育長協議会

提案1 福祉、母子保健部局と連携した「訪問型家庭教育支援」の実施

提案2 地域のあらゆる人や、「主体」の協働

終わりにあたって

○ 家庭教育支援者は

・ 孤立しがちな家庭→ つながりをつくる

つながりがある（関係からの排除がない）

役割がある（仕事からの排除がない）

居場所がある（場所からの排除がない）

（阿部彩 「弱者の居場所がない社会」から）

・ 何のための地域人材か？

信頼できる他者との出会い

先人から学び、経験を送る・・・・・・ 循環型支援を生む地域づくり

○ 担当者・行政は

多様な主体・・・・当事者性・自律性・地域性を持つ団体・企業をつな

ぐ伴走者＝ファシリテーターとして

以上